

# 柏市民活動ニュースレター

2023年6月発行 第29号

## 市民活動の祭典「柏市民活動フェスタ 2023」が 77 団体が参加して開催されました！

- 市民活動の祭典「柏市民活動フェスタ 2023」が、5月14日（日）に、77の市民公益活動団体が参加して、柏駅周辺で開催されました。
- 天気予報は「曇りのち小雨」でしたが、皆さんの熱意が通じて、時折太陽も顔を覗かせる、程良いイベント日和になりました。⇒2～3 ページ参照
- また、フェスタの翌々週の日曜日（28日）には、柏駅前で、みんなの「やりたい」気持ちを形にする屋外イベント「カシワグリーンデイ」が盛大に開催されました。（下の写真）

**柏市民活動フェスタ 2023**  
わたしのドキドキ かしわのワクワク

日時 2023年5月14日（日）  
屋外 10:00～16:30 パレット柏 9:30～17:30  
雨天・荒天時 室内イベントのみ開催

会場 柏駅東口サンサン広場（ダブルデッキ）  
ファミリかしわ前広場 柏駅前通りハウディモール  
パレット柏 オンライン動画（YouTube）

**フードドライブ**  
「もったいない」を「ありがとう」に  
10:00～16:00 受付：パレット柏  
賞味期限までに食べられそうにない、  
「たくさんもらって余っている」等、  
ご家庭の余剰食品がありましたら  
たもお持ちください！  
必要としている方や福祉施設、  
子ども食堂等に寄付します。  
詳細はこちら

**スタンプラリー**  
10:00～17:00 ゴール：パレット柏  
柏市民活動フェスタ会場を回って  
プレゼントをもらおう！  
<抽選で当たるスペシャルプレゼント 各1組>  
柏市立柏大学卒業生  
ニューイヤーコンサートペアチケット  
NPO こどもすべすべ館 20周年記念  
「オズのまほうつかい」おやこ舞台鑑賞券ペアチケット  
<先着限定プレゼント>  
セレクト古本・安書鑑賞食品など市民団体のとっておき  
<参加者全員にプレゼント>  
チーパークのクリアホルダーなど

**こども広場**  
10:30～16:00  
会場：ダブルデッキ  
みんなでつくるアートワークショップ  
ゴミの分別釣りゲーム・ざつ紙クイズ  
10:00～16:00  
会場：パレット柏  
インクルーシブ～メリメロ音楽会～  
11:05～11:30  
会場：ファミリかしわ前広場

**同時開催**  
LET'S GO カシワワ！ Green Festa  
10:00～16:00  
会場：All Good Garden  
（旧まごう柏駅北の人工芝のエリア）  
ワークショップ、ものづくりマルシェ  
主催：カシワワ・フェスタ実行委員会 柏市  
GREEN UP KASHIWA 音楽ライブ  
11:00～15:00  
会場：KASHIWA GREEN PARK  
（ダブルデッキ旧まごう柏駅側）  
主催：柏市



### <目次>

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| はじめに                     | ・・・1 ページ   |
| 柏市民活動フェスタ 2023           | ・・・2～3 ページ |
| 協働まちづくりサロン「若者が描くこれからの柏」  | ・・・4 ページ   |
| 市民活動講座「市民活動ボランティア受け入れ講座」 | ・・・5 ページ   |
| たまご補助金交付団体の活動紹介          | ・・・6 ページ   |
| 柏・愛らぶ基金団体の活動紹介           | ・・・7 ページ   |
| サポートコーナーからのお知らせ          | ・・・8 ページ   |

# 柏市民活動フェスタ 2023

## ～わたしのドキドキ かしわのワクワク～

5月14日(日)、柏駅周辺で、柏市民活動フェスタ2023が開催されました。

- サブテーマ ～わたしのドキドキ  
かしわのワクワク～
- 開催日 2023年5月14日(日)
- 時間 10:00～16:00(屋外会場)  
9:30～17:30(パレット柏)
- 会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリかしわ前広場、柏駅前通りハウディモール歩行者天国、パレット柏、オンライン配信



色々なアイデアを出してくれた実行委員の皆さん

実行委員  
インタビュー  
動画



柏駅東口駅前通りハウディモールの歩行者天国



柏駅東口ダブルデッキの総合案内



参加団体のポスター展@パレット柏

## 《市民活動フェスタ 2023 名場面集》



開智国際大学吹奏楽部の軽快なジャズで幕開け！



こども HAPPY カレッジのキッズダンスステージ！



ダブルデッキのテントブースでは、各団体が活動を紹介



ハウディモールのブースでも、各団体が活動を紹介



こども広場は、クイズやワークショップで盛り上がりました



手賀沼花火大会  
募金箱を持って、  
「ヨロシクお願いしま〜す！」



パレット柏のオープンスペースやミーティングルームでは、各団体が体験型の活動紹介



旧そごう横では、LET's GO! カシニワ GreenFesta を同時開催

- コロナ禍で長らく停滞していた柏の市民活動も徐々に息を吹き返し、今年の市民活動フェスタは、以前の賑わいを取り戻したように感じました。
- また、新しい実行委員の皆さんのアイデアも、市民活動フェスタに新しい風を吹かせてくれました。
- これを契機に、皆さんで柏の市民活動を益々盛り上げていきましょう！

「次世代の担い手をどう取り入れていくか」は市民活動団体にとって常に抱えている大きな悩み。そこで、今回は市内で活動している若者の事例を通して、多様な世代が活躍するこれからの柏のまちづくりについて考える機会として「若者が描くこれからの柏」を開催しました。

当日は10名が参加し、うち5名は学生(※事例発表者含む)と、年代もごちゃ混ぜで意見を交わす会となりました。

最初にサポートコーナーより、最近の若者の価値観やライフスタイルについて紹介し、事例紹介として、2022年夏に実施されたラコルタ柏の講座「柏未来ラボ」を契機に活動を始めた「K-SNS」の学生メンバー3名に取組みを紹介頂きました。



K-SNSとは、「柏学生ネットワークシステム」の略称で、スマートフォンの既存のコミュニケーションアプリを活用して参加できる、地域の情報に特化した、柏の学生向け掲示板のようなものです。現在、安全に活用するためのルールづくりや情報提供の仕組みづくりを行っており、今後は周囲の学生に声をかけながらのテスト運用を予定しています。

- 事例紹介より

学生の地域活動の壁

- 学校と家の往復では柏や地域の情報がなかなか入ってこない
- 学校の先生から活動を紹介されるだけでは自分に合った活動に出会えない



とてもチームワークの良いメンバーですが、出会ったのは講座がきっかけとのこと。

「アプリを作ったこともなく、難しかったが今後に役立つと感じた」「(こうした市民活動は)学校の課題と違って期限がなく、自由度も高いため自分の都合に合わせて活動できることが魅力」と活動を前向きに楽しんでいる姿が印象的でした。



また、参加者からの「今の若者はボランティアをやりたいのか」という質問には、それぞれの活動のきっかけを話してくれました。

(元々地域活動に参加していたので)気づいたら参加している感覚でした。

勉強以外でできることをやろう、と思った。学校でも家でもない世界が見たい。

市政に興味がありました。活動する中で柏市が好きになり、柏で生活していく上でのモチベーションにもなっていると思います。

終了後のアンケートでは、多世代での街づくりや若者の地域参加に関して、以下のようなアイデアが集まりました。

- 各世代が相互で思っていることを知れる場
- もっと地域の学校等と協力してほしい(地域活動はおもしろいし、大切)
- まちの中で様々な取り組みを考えていく場に若者がいられるような機会と情報提供

学校・部活動・塾・アルバイト等に追われ忙しい日々を送りながらも、地域活動に価値を感じている若者の声を聴くことができた一方、そうした意欲ある若者たちの力を地域で発揮できる仕組みづくりが必要なのではないかと感じました。

今後も、自分たちのペースで地域と関わっている若者との交流の場などを設け、多世代が活躍できる地域について考えていきたいと思っています。

《参加者アンケートより》

- ◆ 高校生の皆さんが何に関心があり、どう情報を得ているのか具体的な事例がきけた。
- ◆ 若者との話の接点をどう持つか手探りでしたが、だんだんつかめてきて良かった。
- ◆ 多世代のインターネットに関する考え方が聞けて面白かった。
- ◆ 「ボランティア」という言葉の意味が年代によって変わっていたことにおどろいた。

## 第1回市民活動講座（6/3） 市民活動ボランティア受け入れ講座

6月3日（土）、団体のボランティア受け入れについて学ぶ市民活動講座「市民活動ボランティア受け入れ講座」が行われました。

まずは、地域の居場所作りに取り組んでいる市民公益活動団体「プチカル柏の葉」代表の二瓶さんから、活動紹介とボランティア活動の状況および、東京大学の学生ボランティアの受け入れ事例を伺いました。ボランティアと団体がお互いの目的を理解し合うことで共に気持ちよく活動できること、ボランティア自体が自分の居場所だと感じられる場づくりも重要だと話されました。関わる方の多くが自宅に近く、無理をしないことも継続的な活動につながっているとのことでした。

次に柏市社会福祉協議会ボランティアセンターの勝矢さんから、ボランティア依頼や活動希望の状況、およびボランティア受け入れ側が心がけたい事柄などを伺いました。

今回は少人数での開催だったので、ボランティア募集や受け入れ、若い世代のボランティア参加についてなど、具体的な内容でじっくりと意見交換をすることができました。

最後に、今年度市民活動サポートコーナーで取り組む予定の、若者ボランティアによる地域づくり事業について説明し、閉会となりました。



- テーマ 『市民活動ボランティア受け入れ講座』
- 日 時 2023年6月3日（土）  
9時30分～11時30分
- 場 所 パレット柏
- 講 師 プチカル柏の葉 代表 二瓶さん  
柏市社会福祉協議会  
ボランティアセンター 勝矢さん
- 内 容 ボランティア受け入れ事例  
ボランティア受け入れの心構え  
質疑応答  
意見交換など



---市民活動団体や事業所等での  
ボランティア受け入れで大切なこと---

- ① お互いが対等な関係で活動すること
- ② ボランティア受け入れ担当者を配置すること
- ③ ボランティアの存在を担当者だけでなくメンバー内で共有すること
- ④ ボランティアがスムーズに活動できるよう注意点、活動内容の確認などの打合せを事前に行うこと
- ⑤ ボランティアは無償の労力ではないので可能な限りサポートを行うこと
- ⑥ ボランティア終了後は活動の振り返りを行ったり、直接お礼を伝えたりすること

参考：柏市社会福祉協議会ボランティアセンター  
発行「ボラセン Guide」

学生ボランティア受け入れの際、期間と目標が明確であったことで、お互いに気持ちよく関わることができました。

プチカル柏の葉  
代表 二瓶さん



「プチカル柏の葉」HP



ボランティアセンターで年に4回実施している「ボランティア入門講座」もご活用ください。

柏市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
勝矢さん

## たまご補助金

# 柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の活動紹介（ちゃーりんぐ柏／KASHIWA NOTE）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、今年度も、設立間もない7つの市民公益活動団体が活動しています。

ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしています。新しい仲間たちの活動に注目してください。



（補助金の詳細）

### ■団体名

ちゃーりんぐ柏



### ■団体紹介

市内の歴史文化資源をめぐるサイクリングツアーの実施や、SNS・動画の活用によって、若い世代に柏の歴史文化を知ってもらい、地元への愛着心を育む活動を行っています。



### ■活動報告（サポーター 及川）

5月20日、たまご補助金活用事業の第1回として、手賀地域を自転車でめぐる「高校生歴史大好きツアー」を実施しました。

自転車ツアーに必須のヘルメットを持っている高校生が少なく、少人数のツアーとなりましたが、文化課の学芸員さんの解説もあり、参加した方にとって地元の歴史文化を知ってもらう有意義な機会になったと思います。

今回の経験を活かすとともに、リアル動画配信などを積極的に行って、多くの若者に柏の歴史文化に興味を持ってもらえるような活動を行うことを期待しています。

旧手賀教会堂



興福院



道の駅しようなんて、J:COM「LIVEニュース」の生放送に出演し、岡田亜紀さんにインタビューを受けました。



POINT  
・魅力的な歴史スポットがある  
・ただアクセスが悪い場所が多い  
・自転車を使って運れば解決！

「ちゃーりんぐ柏」歴生のきっかけ

### ■団体名

KASHIWA NOTE

（カシワノート～カシワの音～）

### ■団体紹介

プロの音楽家が在籍し、柏市を中心に活動する音楽団体です。演奏会だけではなく様々な音楽活動を通じて、人々に音楽を届ける活動を展開しています。



- ・経済的・身体的理由などでコンサートに行けない方々に「生演奏を聴く機会」を提供
- ・未就学児や施設入居者など、音楽に触れる機会を持っていない方々に「楽器に触れる機会」を提供
- ・人前で演奏することにハードルがある人々に「演奏を発表する機会」の提供等
- ・たまご補助金交付2年目になる今年度は、様々な方々が能動的に音楽を楽しめる機会を創出することを目指して活動します。

### ■活動報告（サポーター 三好）

5月14日に行われた柏市民活動フェスタでは、ファミリかしわ前広場での演奏と、ダブルデッキ上のこども広場で「楽器体験ワークショップ」を行いました。子どもたちは様々な楽器を手にし、楽しそうに過ごしていました。また、同実行委員会企画の「メリメロ音楽会」では、公募で集まった多様な方々が、初めて触れる楽器を練習し、ステージで発表しました。団体はその指導を担い、フェスタを盛り上げました。

今年度、団体がチャレンジする活動に注目です！

ダブルデッキ上の「こども広場」で楽器体験ワークショップ



ファミリかしわ前広場で、様々な方々に音楽に親しむ体験を！



いずれも5/14市民活動フェスタにて

## 柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄付金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している 27 団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次 愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



(基金の詳細)

### グループSEC (地域で‘性共育’をつくる会)

子どもたちの心と体の健全な成長を願って、地域で子育てに関わる人たちと協力し、『親子で共に学び合う“性共育”プログラム』を「命=生=性=人権」の立場から文化的・科学的に豊かな表現で開発し、実践することを目的に活動しています（2000年設立）。基金はSEC（性共育）講座～学校や地域コミュニティで共に学ぶ！～と題し、「デートDV防止プログラム」や親子向け地域イベント「親子de性教育」の実施に活用されています。



(団体の詳細)

### NPO 法人カモミール

園芸福祉の活動を通して、障がいを持つ人もそうでない人も、共に地域で育ち生活していく事を目標に関わりあって行くための「場所」をつくっていくことを活動の理念として活動しています（2011年NPO法人設立）。主な活動は園芸療法の一環として花やハーブ苗の育成・販売活動と社会との接点としての交流活動です。基金は障がい者と地域住民をつなぐハーブ園の運営などに活用されています。



(団体の詳細)

## 柏若者ブック「HONNE MAGAZINE」を発行しました！

本書は、「今どきの若者を知る」ということだけでなく、現在まちづくりに関わる方たちにも、柏という街の今後を先入観抜きに考える上で、参考にしてほしいテキストです。

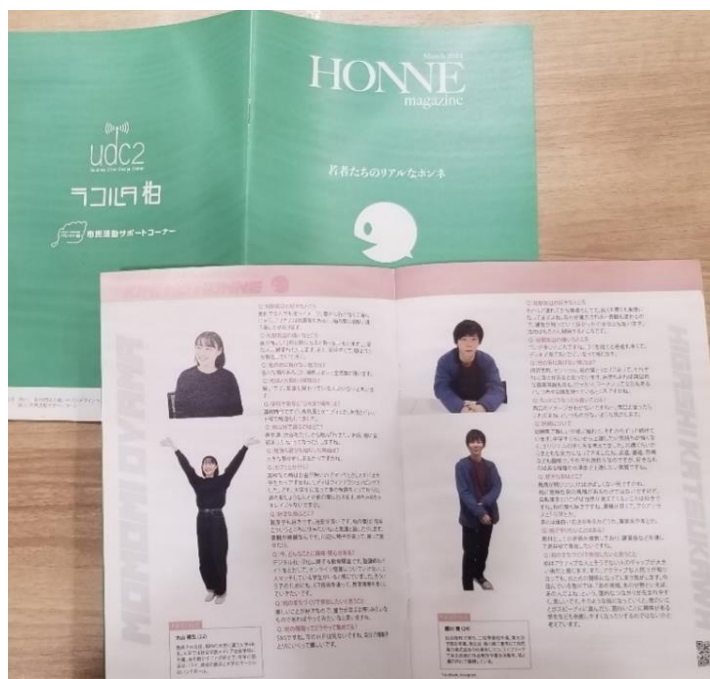
#### 【掲載内容】

- ・ 柏で活動している個人・団体へのヒアリングインタビュー
- ・ 若者に関する取り組みの紹介
- ・ 若者が街に関心を持った際に参加できる導線の紹介

【発行】UDC2、ラコルタ

【協力】柏市民活動サポートコーナー

市民活動サポートコーナーをはじめ市内の公共施設等に配架されていますので、ぜひ手にとってご覧ください。



## 市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（7月～9月）

市民活動サポートコーナーの主催で、月に一度、市民活動講座または協働まちづくりサロンを開催しています。

7月～9月には下記の講座・サロンを予定しており、開催が近づいたら、広報かしわなどでお知らせします。

## ■市民活動講座

第2回「団体運営をICTでレベルアップ」 8月29日（火）

## ■協働まちづくりサロン

第1回「若者が描くこれからの柏」 7月28日（金）

まち *match* づくりステーションのご利用案内

パレット柏の「まち *match* づくりステーション」は、柏市内で活動する市民活動団体の活動紹介や団体同士の交流・連携などに利用するスペースです。団体活動の活性化に向けて、積極的にご利用ください。



ご利用を希望される方は、パレット柏の総合受付までお申込みください。

☎04-7157-0280

## ■6月下旬～9月の予定（下記以外の期間は未定）

☆ひまわり会 6月16日～30日

☆柏市俳句連盟 7月1日～15日

☆夏休みボランティア体験受入れ団体活動紹介 7月16日～31日

☆柏のキになる探検隊 8月1日～15日

☆NPO 法人柏市国際交流協会 9月16日～30日

## ～編集後記～

ニュースレターは、本号からカラー印刷にし、柏の市民活動の様子が、視覚からもより良く伝わるように工夫しました。如何でしょうか？

さて、約3年半にわたる新型コロナウイルス感染症の大流行で柏の市民活動も長らく停滞していましたが、今年5月8日に感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したこともあって、市民生活は徐々に落ち着きを取り戻し、市民活動も息を吹き返しつつあります。

しかし、まだまだ油断は禁物。感染者はその後増える傾向にあり、皆さんの身近にも最近感染したという方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

市民活動に取り組む際、特に重症化リスクの高い高齢者は、引き続きコロナ感染に十分気を付けながら、慎重に活動を始めるようにしましょう。  
（編集：及川愛二）